

東日本大震災に遭遇して ⑨

3 / 1 1 の大震災から 1 ヶ月半になるが相変わらず余震が続いており、揺れに過敏症になったのか、地震か？それとも思い過ぎか？と迷うこともしばしば。

TV 画面での緊急地震速報は、揺れが来る県名は表示されるが震源地、予想震度は表示されないの、本震のような強い揺れがくるかと不安で身構えてしまい、疲れる。余震は数年続くかも…、しかもマグニチュード 8 クラスの余震があるかも…とのことで、疲れは続きそう (/_:)

それだけに、「東日本大震災に遭遇して ⑥」の「⑩」に記載したように、あるメル友から無料の PC 用「高度利用者向けの緊急地震速報専用受信ソフト」を紹介され早速インストールしている。

居住地を登録すると、単に速報だけでなく、日本地図上に震源地の表示、地震の推定マグニチュード、揺れまでの推定所要時間、居住地の予測震度まで瞬時に通知音と一緒に表示される。

TV の緊急地震速報（地震は、P 波の小さな揺れの後、S 波の大きな揺れが来る。この P 波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、最大震度 5 弱以上の大きい揺れの S 波が来る数秒から数十秒前に発表するもの）より、余震の詳細が一目で分かるので不安がかなり緩和されている。

報道等の一般向けでなく高度利用者向けだけに、弱い地震も通知してくるので強い余震でないと分かるのでホッとす。

ただ、このソフト受信条件は PC を常に ON 状態であることで、スタンバイ状態や特に OFF にして寝ている夜中には受信・表示されず、揺れについ飛び起きてしまい、揺れの後、寝付れないのに困ったもの。

さて、このソフトを使ってみて、地震発生を瞬時にとらえ瞬時に我が PC に届くとは、そのメカニズムの仕組みに驚くと共に、この IT 時代というかネット時代は凄い！と実感した。

福島原発問題でも、警戒区域、避難指示区域等は同心円での図しか公表しなかったが、外国政府のネット上では、地形、気象等を考慮しての放射能拡散シュミレーション図は見られるだけに、日本政府がいくら不安を煽らないようにと公表を渋ってもねえ～。

また、今も続いているが、北アフリカや中東の国々で起こっている民衆の民主化要求の政変、動きもネットが大きな要因として機能したよう。

情報が瞬時、瞬間に世界を駆け巡るネット社会に生きていくには、どの情報を納得して判断・選択し、どう活用するかは、各自の責任ということか。